

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

平成 29 年 5 月発行 87-1

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

『東京五輪』向け「お手玉」づくり

東京お手玉の会が精力的に取り組む

東京お手玉の会(小泉珠子会長)は、いま、3年後に開催される東京オリンピック、パラリンピックのための『東京五輪お手玉』づくりに、精力的に取り組んでいます。

『東京五輪』の開催中は、世界中からたくさんの出場選手や観戦者、観光客が訪れます。

その外国からのお客様に、お土産として『東京五輪お手玉』を提供し、日本の伝承文化に触れていただくとともに、心の温もりを味わっていただくという考えで、東京お手玉の会では、5万個を目標にお手玉の製作に取り組んでいます。



東京お手玉の会は、『東京五輪』の決定と同時に、『東京五輪お手玉』づくりを決め、最初に布の柄選びに取り掛かりました。

五輪の色の青、黄、黒、緑、赤の5色に色分けした布の中央に、日本のお手玉の会のシンボルの「たまちゃん」を配置、その下に「おてだま」の字を印刷しています。このデザインで、特許庁の実用新案に登録し、俵型のお手玉に仕上げています。(写真：左)

お手玉づくりに協力できる方は、一度、東京お手玉の会に連絡してみてください。

また、お手玉製作の費用を捻出するため、『東京五輪お手玉』を1個200円、ヨーヨーお手玉を1個250円、お手玉3個とヨーヨーお手玉2個を巾着袋に入れたものが2,700円(税込)(写真：右上)で販売しています。

ご希望の方は、下記にお問い合わせください。

【問合せ先】〒157-0068 東京都世田谷区宇奈根 3-14-28 ☎03-3415-0305
東京お手玉の会 会長 小泉 珠子

『五輪のマークのいわれ』世界の5大大陸を表す

ところで、「五輪のマーク」ですが、これは、オリンピックの創始者であるピエール・ド・クーベルタン氏が考案しました。そして、1920年にIOC創立20周年記念式典が行われた際に公表されました。それぞれの色は、世界の5大陸「オセアニア(青)、アジア(黄)、アフリカ(黒)、ヨーロッパ(緑)、アメリカ(赤)」を表しているといわれています。ほかに、自然現象の水の青、砂の黄色、土の黒、木の緑、日の赤とか、スポーツの五大鉄則の水・体力・技術・情熱・栄養を表現したものである、などの説があるともいわれています。

